

はじめに

平成三〇年は明治維新から一五〇年目にあたりります。高知県では昨年「志国高知幕末維新博」を開催しており、当館でも幕末に関するさまざまなテーマの企画展を開催して参りました。今回の企画展「維新が変えた庶民のくらしー絵馬や民具から読み解く庶民のくらしー」は、明治維新以降の高知の庶民のくらしに焦点を当てました。

江戸時代が終わると、天皇を頂点とする新しい政府が生まれました。郵便や学校など欧米の制度を採り入れるとともに、富国強兵の名のもとに徴兵制による軍隊が整えられ、さまざまな産業が発達しました。高知県でも、中央（東京）ほど急激ではありましたが、県民のくらしや産業は少しずつ変わっていきました。

本展では、絵馬や民具、歴史資料等を通して、明治時代から大正・昭和初期にいたる高知の人々の営みを紹介しておりますが、本パンフレットは、その中から絵馬に絞って構成しました。

現代の私たちの生活の一部となっている制度や文化には、明治時代に始まったものも数多くあります。本展が私たちの社会の成り立ちに思いをよせ、これからの未来を考えるきっかけになれば幸いです。

最後に、今回の企画展を実施するにあたってご協力を頂いた皆様に深く感謝申し上げます。

平成三〇年一〇月六日

高知県立歴史民俗資料館 館長 樋口毅彦



「直会絵馬」 明治12年(1879) / 香美市土佐山田町間 須賀神社蔵

明治12年11月15日に佐古藪村の氏子から奉納された絵馬。神社における直会の様子が生き生きと描かれている。赤い物据えの上の皿鉢（鯛の活け作り）、中央の笛巻に興じる男達、子どもの頭の刺り方など当時の土佐の風俗が記録されている。全員着物で、江戸時代と変わらないようだが、鬘を結った頭とザンギリ頭が混在するところに明治初期の雰囲気を感じられる。作者は宮田洞雪。香美市指定有形文化財。縦92cm×横137cm

※この絵馬の写真は『幕末維新土佐庶民生活誌』（高知県立歴史民俗資料館、2012年）にも収録されています。

平成30年度 第68回高知県芸術祭共催行事

平成30年度 企画展

維新が変えた庶民のくらし 絵馬から読み解く高知の近代

編集・発行 高知県立歴史民俗資料館
〒783-0044 高知県南国市岡豊町八幡1099-1
電話 088-862-2211
FAX 088-862-2110
<http://www.kochi-bunkazaidan.or.jp/~rekimin/>
E-mail: rekimin@kochi-bunkazaidan.or.jp

発行日 平成30年10月6日
印刷 川北印刷株式会社

凡例

- 1 本冊子は、平成30年10月6日から12月9日にかけて高知県立歴史民俗資料館において開催する企画展「維新が変えた庶民のくらしー絵馬や民具から読み解く高知の近代ー」の関連パンフレットである。
- 2 展示資料の中から、絵馬に絞って掲載した。そのためパンフレットの表題は「絵馬から読み解く高知の近代」としている。また、展示していても未掲載の絵馬、掲載していても展示していない絵馬もある。
- 3 掲載順は年号のわかっているものは、おおよそ年代順としたが、一部描かれたテーマによってまとめたページもある。
- 4 本パンフレットに掲載した絵馬の所蔵者については、キャプションに記載した。写真は、「小学校授業風景絵馬」以外はタケムラスタジオ（竹村豊）の撮影による。
- 5 本パンフレットの構成・執筆は当館学芸課 楠野光興と石畑匠基が担当し、解説は石畑が行なった。

主な参考文献

『絵馬 土佐の歴史とくらし』（高木啓大監修・筒井秀一編集）、高知市立自由民権記念館、1992年

協力者一覧

本パンフレットを作成するにあたり、所蔵者の皆様をはじめ、次の方々からご協力を賜りました。記して謝意を表します。（敬称略・順不同）

- 琴平神社（南国市里改田） 白倉神社（佐川町斗賀野）
- 須賀神社（香美市土佐山田町間） 若宮神社（いの町連行）
- 八王子宮（香南市上夜須） 宮ノ原八幡宮（佐川町庄田）
- 宝田神社（香南市出口）
- いの町教育委員会 香南市教育委員会 佐川町教育委員会
- 石元光典 上田斉 梶原校里子 北川滯 小林麻由 宗圓良一 高橋衣里
- 筒井政典 寺内より子 土井英洋 濱田眞尚 松山憲明 宮地邦 八幡義之
- 出岡和二 吉本悦子

表紙 「直会絵馬」部分 / 香美市土佐山田町間 須賀神社蔵

裏表紙 「福岡県大演習絵馬」部分 / 南国市里改田 琴平神社蔵